

## コース別訓練計画表

コース名		定員	日数	時間数
第一種電気工事士筆記試験受験準備Ⅰ		10名	3日	18時間
訓練目標	第一種電気工事士筆記試験合格に必要な(電気理論、配電理論、配電設計、電気応用、電気機器、高圧受電設備、電気工事の施工方法、自家用電気工作物の検査方法、発電・送電・変電設備、保安に関する法令、鑑別・選別)知識の習得			
到達水準	第一種電気工事士筆記試験合格に必要な電気理論、配電理論、配電設計、電気応用、電気機器、高圧受電設備、電気工事の施工方法、自家用電気工作物の検査方法、発電・送電・変電設備、保安に関する法令、鑑別・選別について知っている			
対象者または前提知識・資格	第一種電気工事士筆記試験受験者の方			
細目	内容			時間数 (目安)
電気理論	計算の基礎、電線の抵抗、抵抗回路、電磁気、コンデンサ回路、電力・電力量・熱量、交流回路、三相スターデルタ結線、スターデルタ等価変換			2時間
配電理論、配電設計	配電一般、単相3線式配電路、電力損失、電圧降下、力率改善、需要率、不等率、負荷率、架空電線路の強度計算、屋内配線の設計			2時間
電気応用、電気機器	光源、照度計算、電熱、電動力応用、変圧器のタップ・結線・損失・効率・パーセントインピーダンス・並行運転・試験・検査、電動機の特性・始動法、同期機、絶縁材量、蓄電池、充電方式、整流回路			2時間
高圧受電設備	高圧受電設備の構成・器機、高調波対策、主遮断装置、保護協調、三相短絡電流、遮断容量、高圧用配線材料、低圧配線材料			2時間
電気工事の施工方法	低圧屋内配線工事、電線の許容電流、電線の接続、漏電遮断器の施設、接地工事			2時間
自家用電気工作物の検査方法	電気計器の種類・接続、倍率器、分流器、電力計、電力量計、接地抵抗・絶縁抵抗の測定、絶縁耐力試験、高圧ケーブル・コンデンサの検査、定期検査、継電器の試験			2時間
発電・送電・変電設備	水力発電、ディーゼル発電、コーチェネレーションシステム、汽力発電、ガスタービン発電、新エネルギー発電、原子力発電、送電・変電設備			1時間
保安に関する法令	電気事業法、電気工事士法、電気事業法、電気用品安全法			1時間
配線図	高圧受変電設備の单線結線図・複線図、制御回路の基本事項			2時間
鑑別・選別	高圧受変電設備の器機・材料、低圧工事用材料・器機、電動機制御回路用機器、工具、検査用測定用計器			2時間
				18時間
受講者に準備いただくもの	筆記用具			
使用テキスト ・教材等	第一種電気工事士筆記試験完全マスター 改訂3版 (オーム社)			
使用機器 ・材料等				